

データヘルス計画の目標管理一覧表								目標を達成するための個別保健事業				
関連計画	健康課題	達成すべき目的	問題を解決するための目標	初期値	実績値	実績値	中間評価値	評価	成功要因	未達要因	今後の事業の方向性	最終目標値 <small>朱書きは修正目標値</small>
				H28	H29	H30	H31					
特定健診等計画		医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす。	特定健診受診率 60%以上	40.5%	41.3%	42.1%	43.2%	a*	受診率が上昇している要因 ・再勧奨通知の送付 ・電話・訪問での健診勧奨(H30～) ・個別健診も推奨	・住民の意識への働きかけが不十分(病院通院していたら健診は不要だろう、昨年健診受けたから今年はいいかなという声がある) ・健診受診者のリピート率が78.1%と低い(特に特定保健指導該当者は71.6%) ・医療機関との連携不足	普及啓発を行い、受診率、継続受診率の向上(広報のほかSNSの活用を検討) 対象を絞った受診勧奨の実施 健康講話の実施 医療機関との連携(治療中の方も健診継続につなげる、未受診者リスト活用)	54
			特定保健指導実施率 60%以上	43.8%	59.0%	56.5%	62.8%	a	・H29～集団は、保健指導該当者は結果を手渡しに変更、説明会欠席者も結果を郵送せず訪問等で対応 ・H31～ドックのデータも活用し、保健指導を実施 ・H31は年度後半の個別健診データも活用し、保健指導該当者を訪問(臨時保健師が確保できた)		現状にて継続して行っていく	65
			特定健診受診者における特定保健指導該当者の割合減少	8.7%	9.9%	10.5%	10.2%	c		・メタボが減少していないため	メタボ減少に向けた取り組みを強化 自身の体調や健康に関心を持ってもらえるような地域づくり 次年度は特定保健指導対象外になるよう生活習慣改善につながる継続支援を実施する	9.0
中長期	H25年度とH28年度を比較すると、虚血性心疾患、脳血管疾患及び人工透析の割合が僅かではあるが増加している。虚血性心疾患と脳血管疾患においては糖尿病と脂質異常症の割合が増加しており、人工透析においては、糖尿病の割合が増加している。	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する。	脳血管疾患の生活習慣病総医療費に占める割合の減少 ※1	2.5%	2.8%	2.5%	3.7%	c		・特に脳梗塞が増加(発症者は、再発を繰り返している人、健診未受診、健診受診者でも検査値は正常範囲内(治療中)、長期入院中など様々) ・ラクナ・アテロームそれぞれおられる ・健診受診率が低いため、未把握のハイリスク者が多いと考えられる。	健診の受診率の向上 メタボリックシンドロームや高血糖の改善 高血圧者の支援の強化	2.5
			虚血性心疾患の生活習慣病総医療費に占める割合の減少 ※1	1.5%	1.5%	1.7%	1.5%	b		・健診受診率が低いため、未把握のハイリスク者が多いと考えられる。	健診の受診率の向上 メタボリックシンドロームや高血糖の改善 高血圧者の支援の強化	1.45
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少 ※2	46.0%	49.3%	44.6%	45.5%	b		・透析者の内、糖尿病の者が減少していない。 ・数年以上国保加入で糖尿病性腎症で透析開始の方もH28,H29年度おられる。 ・健診受診率が低いため、未把握のハイリスク者も多いと考えられる。	健診の受診率の向上 糖尿病性腎症重症化予防プログラムの支援強化 医療機関との連携(特にコントロール不良者・治療中断者)	45
短期	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす。		メタボリックシンドローム・予備軍の割合減少25%	26.7%	30.1%	30.7%	32.2%	c		・生活習慣改善につながるような継続支援ができていない：問診結果より、就寝前の夕食、早食い、1日1時間以上の運動なし、飲酒量2合以上、喫煙あり、が増加。 ※減少できた項目はある(30分以上の運動習慣なし・毎日飲酒)がまだ全国平均よりも高い状況。	生活習慣改善に向けた継続支援の充実のほか、啓発活動にも力を入れる 今後の対象者の増加を抑制するため若年層にもアプローチする 見てもらいやすい発信方法を検討する	29.5
			健診受診者の高血圧者の割合減少(160/100以上)	4.3%	3.7%	4.2%	3.2%	a	・年々、健診後に治療につながる方が増えたため ・H30・R1継続受診者の内、改善率66%(県内2位/20市町)		現状にて継続して行っていく	3.1
			健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL180以上) ※3	3.1%	2.6%	2.8%	2.4%	a	・治療なしでも改善する方が増えている ・H30・R1継続受診者の内、改善率56.9%(県内1位/20市町)		現状にて継続して行っていく	2.3
			健診受診者の糖尿病患者の割合減少(HbA1c6.5以上)	8.6%	8.4%	8.9%	10.1%	c		・生活習慣改善につながるような継続支援ができていない。 ・H30・R1継続受診者の内、改善率32.8%(県内3位/20市町)	個別支援では継続支援の強化 医療機関との連携、啓発活動	8.5

※1:評価への影響を最小限にするため、分母を「生活習慣病総医療費」に変更

※2:透析者の内、糖尿病の診断がある者の割合で評価する

※3:評価指標をLDLコレステロール「140以上」から、支援を行っている「180以上」に変更

< 評価 >

a*:改善だが目標達成が危ぶまれる

a:改善

b:変わらない

c:悪化

d:評価困難